

|              |  |       |                    |                               |           |  |
|--------------|--|-------|--------------------|-------------------------------|-----------|--|
| 政策整理番号       | 7  | 施策番号  | 3                  | 評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価) |           |  |
| 対象年度         | H18  | 作成部課室 | 土木部 防災砂防課          | 関係部課室                         |           |  |
| 政策名          | 県土の保全と災害に強い地域づくり                                   |       |                    | 政策番号                          | 1 - 2 - 2 |  |
| 施策番号         | 3  | 施策名   | 土砂災害から地域を守る地すべり対策等 |                               |           |  |
| 施策概要         | 土石流等による土砂災害から県民の生命、財産を守るため、自然や景観と調和した地すべり対策等を進めます。 |       |                    |                               |           |  |
| 政策評価指標 / 達成度 | 土砂災害危険箇所におけるハード及びソフト対策実施箇所数                        |       | A                  |                               |           |  |

達成度: A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

### 施策を構成する事業の分析

| 活動(事業) / 活動(事業) によりもたらされた結果 |   |                      |                                       |   | 活動(事業) によりもたらされた成果                   |           |           |   |                                     |        |     |     |
|-----------------------------|---|----------------------|---------------------------------------|---|--------------------------------------|-----------|-----------|---|-------------------------------------|--------|-----|-----|
| 事業番号                        | 事業名<br>【担当課】                                  | 事業の対象<br>(誰・何を対象として) | 事業の手段<br>(内容)<br>(何をしたのか)             | 業績指標名<br>(単位)<br>(事業の活動量、「事業の手段」に対応)    | H16                                  | H17       | H18       | 事業の目的<br>(意図)<br>(対象をどういう状態にしたのか)                 | 成果指標名<br>(単位)<br>(事業の成果、「事業の目的」に対応) | H16    | H17 | H18 |
|                             |   |                      |                                       |   | 業績指標の値                               |           |           |   |                                     | 成果指標の値 |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 事業費<br>(決算(見込)額, 千円)<br>単位当たり事業費(千円) |           |           |   |                                     |        |     |     |
| 1                           | 土砂災害防止啓発事業<br>(土砂災害情報相互通報システム整備事業)<br>【防災砂防課】 | 土砂災害危険箇所             | 「土砂災害危険箇所図」を作成し、市町村へ配布するとともにホームページに掲載 | 「土砂災害危険箇所図」の公表に至った土砂災害危険箇所のある市町村数 (市町村) | 69                                   | 69        | 69        | 土砂災害危険箇所の所在地を広く県民に公表することにより県民の防災意識の向上を図る。         |                                     |        |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 24,000                               | 12,000    | 10,000    |   |                                     |        |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 347.8                                | 173.9     | 144.9     |   |                                     |        |     |     |
| 2                           | 砂防基礎調査<br>【防災砂防課】                             | 土砂災害危険箇所             | 土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施に際し、土砂災害に関する説明会を開催  | 基礎調査における「押し掛け出前講座」を実施した土砂災害危険箇所数 (箇所)   | 172                                  | 143       | 172       | 土砂災害について、住民に分かり易く説明を行うことによって、危険箇所の認識と防災意識の向上を図る。  |                                     |        |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 165,000                              | 132,000   | 135,000   |   |                                     |        |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 959.3                                | 923.1     | 784.9     |   |                                     |        |     |     |
| 3                           | 砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業<br>【防災砂防課】           | 土砂災害危険箇所             | 土砂災害危険箇所における砂防施設等のハード対策の実施            | 砂防・地すべり・急傾斜などのハード対策を実施した箇所数 (箇所)        | 78                                   | 59        | 30        | 土砂災害の発生する危険度の高い箇所について対策施設を整備することで地域住民の生命・財産が守られる。 | 砂防・地すべり・急傾斜などのハード対策が完了した箇所数 (箇所)    | 29     | 23  | 5   |
|                             |   |                      |                                       |   | 4,067,590                            | 2,732,389 | 987,667   |   |                                     |        |     |     |
|                             |   |                      |                                       |   | 52148.6                              | 46311.7   | 32922.2   |   |                                     |        |     |     |
| 4                           | []  |                      |                                       |   |                                      |           |           |   |                                     |        |     |     |
| 5                           | []  |                      |                                       |   |                                      |           |           |   |                                     |        |     |     |
| 事業費計(千円)                    |   |                      |                                       |   | 4,256,590                            | 2,876,389 | 1,132,667 |   |                                     |        |     |     |

**B - 1, 2, 3 施策を構成する事業群の評価**

| B - 1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業群設定の妥当性  | B - 2 事業群の有効性   | B - 3 事業群の効率性   |
|---|---|---|
| 適切  | 有効  | 効率的   |
| <p>【評価の根拠】<br/>施策を構成する事業の分析「B-1 事業への県の関与の適切性と事業設定の妥当性」を総括して記載</p> <p>土砂災害から県民の生命・財産を守るべくハード対策・ソフト対策双方から土砂災害への備えを行うものであり、事業間の重複や矛盾はなく、必要性の高い事業である。また、国・市町村との役割分担も適切なものである。</p> | <p>【評価の根拠】<br/>施策を構成する事業の分析「B-2 事業の有効性」を総括して記載</p> <p>成果指標の推移からみても、ソフト対策における土砂災害全般に対する認識は確実に向上しているものと判断できる。また、ハード対策においても整備率は毎年着実に向上しており、施策目的の実現に貢献していると考えられ「有効」と判断した。</p> | <p>【評価の根拠】<br/>施策を構成する事業の分析「B-3 事業の効率性」を総括して記載</p> <p>各事業は、制約されている予算のなか優先度を適切に判断し効率的に実施されている。</p> |

**B 施策評価(総括)**

| 適切   |
|--|
| <p>【評価の根拠】<br/>B - 1, 2, 3を総括し施策を総合的に評価</p> <p>土砂災害から県民の生命・財産を守るべく適切な事業の設定となっている。各事業の成果指標からも事業の十分な成果が認められ、また、効率的な実施状況と判断される。以上をふまえて事業の設定及び推進は「適切」と判断する。</p> <p>【施策の次年度(平成20年度)の方向性】 この施策における今後の課題等を記載</p> <p>総合的な土砂災害対策の推進を図るべく、今後もハード・ソフト双方からの事業を計画的・効率的に行っていく。また、災害時要援護者・避難所・孤立化集落など、重点的に保全を図るべき対象箇所等の事業の推進を図ることを今後の課題としている。</p> |

**施策を構成する事業の分析**

| 活動(事業)の分析  |   |  |
|--|---|--|
| B-1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業設定の妥当性  | B-2 事業の有効性  | B-3 事業の効率性   |
| <p>【国、市町村、民間団体との役割分担は適切か】<br/>【施策目的及び社会経済情勢を踏まえた事業か】<br/>【事業間で重複や矛盾がないか】</p>   | <p>【成果指標の推移から見て、事業の成果があったか】<br/>【施策目的の実現に貢献したか】</p>                                 | <p>【事業は効率的に執行されたか(単位当たり事業費の推移その他から)】</p>   |
| <p>土砂災害から県民の生命・財産を守るべく、土砂災害危険箇所の所在を広く県民に公表し危険箇所の認識と防災意識の向上を図るものであり、必要性の高い事業である。また、国庫補助の活用や地域防災計画への反映など、国・市町村と連携し、事業実施にあたっている。</p>        | <p>平成18年度より、GIS地図による公表方法としたことにより、より扱い易く分かり易いものとなっており、県民の土砂災害危険箇所の認識は、確実に向上している。</p> | <p>土砂災害危険箇所図の公表については、平成15年度より県内全市町村分を公表しており、特に18年度はその精度・情報の充実化を図ることにより、より効率的に県民の土砂災害への認識が図られるよう実施した。</p> |
| <p>土砂災害から県民の生命・財産を守るべく、土砂災害の発生機構・危険箇所・土砂災害防止法などを説明し、危険箇所の認識と防災意識の向上を図るものであり、必要性の高い事業である。また、庫補助の活用や地域防災計画への反映など、国・市町村と連携し事業実施にあたっている。</p> | <p>毎年の着実な「出前講座」の実施により、県民の土砂災害危険箇所の認識・防災意識の向上は着実に図られている。</p>                         | <p>基礎調査の実施にあたっては、過去の土砂災害の発生件数の多い市町村から優先して実施しており、事業は効率的に実施されている。</p>                                      |
| <p>土砂災害から県民の生命・財産を守るべく対策事業を実施するものであり、これらの保全は地域民生の安定・経済の活性化にも繋がることから必要性の高い事業である。また、国庫補助事業の活用や市町村負担金など、国・市町村と連携し事業実施にあたっている。</p>           | <p>毎年の着実なハード対策の完了により、県民の生命・財産の保全は着実に図られている。</p>                                     | <p>ハード対策の実施にあたっては、危険度評価点・保全対象評価点・被害評価点を加味した優先順位を決定し、その優先度の高い箇所より事業を実施しており、事業は効率的に実施されている。</p>            |
|  |   |  |
|  |   |  |
|  |   |  |
|  |   |  |

**施策を構成する事業の方向性**

| 活動(事業)の次年度(平成20年度)の方向性とその説明 |   |
|-----------------------------|---|
| 方向性                         | 方向性に関する説明   |
|                             | <p>「宮城の将来ビジョン」における位置づけ</p>  |
| 取組番号                        | 取組名   |
| 維持                          | 取組32の方針を総合的に推進すべく、「減災」を目指したソフト対策として土砂災害危険箇所図の更なる充実化・相互通報システムの構築を今後確実に推進する必要がある。 |
| 取組32                        | 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進  |
| 拡充                          | 取組32の方針を総合的に推進すべく、「減災」を目指したソフト対策として土砂災害防止法に基づく基礎調査と区域指定を今後確実に推進する必要がある。         |
| 取組32                        | 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進  |
| 維持                          | 取組32の方針を総合的に推進すべく、災害時要援護者施設・避難所・孤立集落などを保全するハード対策を今後確実に推進する必要がある。                |
| 取組32                        | 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進  |
|                             |   |
|                             |   |
|                             |   |
|                             |   |

# 政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号

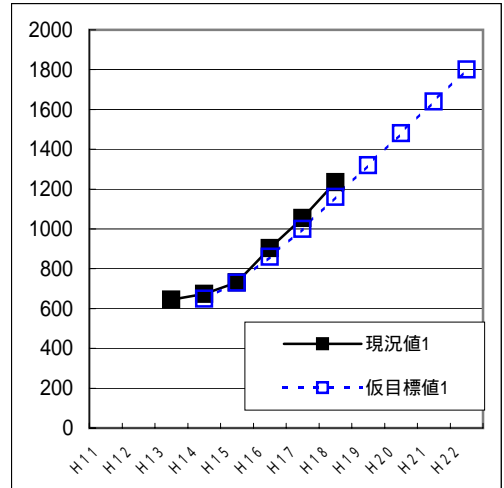
7

施策番号

3

|      |                  |       |                    |       |           |
|------|------------------|-------|--------------------|-------|-----------|
| 対象年度 | H18              | 作成部課室 | 土木部 防災砂防課          | 関係部課室 |           |
| 政策名  | 県土の保全と災害に強い地域づくり |       |                    | 政策番号  | 1 - 2 - 2 |
| 施策番号 | 3                | 施策名   | 土砂災害から地域を守る地すべり対策等 |       |           |

| 政策評価指標                      |                | 単位          |                |                |                |                  |                  |                  |
|-----------------------------|----------------|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
| 土砂災害危険箇所におけるハード及びソフト対策実施箇所数 |                | 箇所          |                |                |                |                  |                  |                  |
| 目標値                         | H17 1,000箇所    | H22 1,800箇所 |                |                |                |                  |                  |                  |
| 評価年                         | 初期値            | H12         | H13            | H14            | H15            | H16              | H17              | H18              |
| 測定年                         | H13            |             | H13            | H14            | H15            | H16              | H17              | H18              |
| 現況値                         | 644<br>(19.5%) |             | 644<br>(19.5%) | 673<br>(20.4%) | 731<br>(22.1%) | 903<br>(27.3%)   | 1,054<br>(31.9%) | 1,235<br>(37.4%) |
| 仮目標値                        |                |             | 650<br>(19.7%) | 730<br>(22.1%) | 860<br>(26.0%) | 1,000<br>(30.3%) | 1,160<br>(35.1%) |                  |
| 達成度                         |                |             |                | A              | A              | A                | A                | A                |



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

## 政策評価指標の概要

土砂災害重点対策箇所(3,305箇所:保全対象人家5戸以上で対策事業の採択基準を満たす箇所)のうち、砂防ダム等のハード整備及び警戒避難対策(土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定準備の完了)が行われた箇所数。

## 政策評価指標の選定理由

・土砂災害被害の減少に向けた防災施設整備及び避難対策の進捗状況を示す指標として選定した。  
 ・県内の土砂災害危険箇所のうち、保全対象が5戸以上の要対策箇所(危険度ランク )が3,305箇所と非常に多く存在する。そのうち、ハード対策(砂防施設等)については膨大な費用と時間を要することから、着手率は平成15年度末現在597箇所(18%)と非常に低い値となっており、それをカバーするには、「県民自ら命を守る」という避難意識の向上を目的とした押しかけ出前講座(ソフト対策)を推進する必要がある。以上のようなことから、砂防施設等の整備及び、押しかけ出前講座の推進が土砂災害対策に繋がるため、ハード対策、ソフト対策の実施箇所数を指標とした。

## 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

・県関係者はもちろん関係する国・市町村・地元住民の連携により、目標値を達成したものである。  
 ・今後も引き続き関係機関との連携を図り、目標値達成に向け積極的取組を図っていく。

## 政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】

土砂災害から県民の生命・財産を守るべく、施設整備などのハード対策実施箇所数と、土砂災害に対する県民の意識・認識の向上を図るソフト対策実施箇所数による指標は、施策実現に向けた指標として緊急性・効率性・経済性の観点からも妥当であると考えられる。

